

時代「現代」

「きらら博」が2001年7月14日から9月30日まで開催されました。テーマは「元気」を発信 ～いのち燦めく21世紀未来博覧会～でした。会場となる「きらら浜」は、元々1947年から1965年まで国営干拓事業として整備されたものであり、総面積は286haです。その後農地として使用されることもなくそのまま放置されていたため、山口県が国から購入しました。南北に分けられた敷地のうち、きらら博が開催されているのはその南側の一部です。

北側のうち30haには身近に自然を観察し、ふれあい、親しむための「山口県立きらら浜自然観察公園」が整備されています。

南側は県民の多様なスポーツ活動や幅広い交流の場として自然共生型の運動公園「山口県スポーツ交流ゾーン」として整備されています。このように単にお祭り騒ぎではなく、博覧会後の跡地の利用もしっかりデザインされています。

阿知須町は平成17年10月1日に1市4町で合併し、新山口市の一部となりました。15年以上たちましたが、これからも「人々が心身ともにのびのびと健やかに暮らし、自然と共生しながら、一人一人が個性豊かに輝くことのできる町」をめざしています。

ジャンル：歴史概略



山口県スポーツ交流ゾーンと山口県立きらら浜自然観察公園